

2025年 8月 1日

退職教職員協議会双葉支部会員のみなさま

福島県退職教職員協議会

双葉支部 事務局

退教協双葉支部「退教協ニュースNo.416号」 の送付にあたって

参議院議員選挙が終わりました。本会報の作成にあたって、準備していた原稿は「福島選挙区で石原当選！」でした。しかし現職候補の壁は厚く、残念ながら石原洋三郎さんは落選となりました。しかし、比例区で日教組出身の水岡俊一さんが当選を果たし、全国的には衆議院と同様に参議院においても少数与党とすることができました。

今回の選挙では、参政党などの新たな勢力がクローズアップされ、若い世代を中心に支持を集め議員数を大幅に拡大しました。社民党は比例区で政党要件の2%を達成して踏ん張りましたが、自民党と（旧）社会党の2党を軸としたいいわゆる「55年体制」はもはや過去のものとなり、新たな「多党」体制がつけられてきています。各党の政策をすり合わせながら合意形成を図っていくこととなると思いますが、その「組み合わせ」が適切なのかどうかは注意して見ていくことが大切です。

ナショナリズム 化への懸念も!

参政党などの主張により、当初想定されていなかった外国人の日本への流入が選挙の争点とされてしまいました。トランプ大統領の「アメリカ ファースト主義」やヨーロッパにおける「極右政党」の台頭など、自国一国主義や他国排他主義のナショナリズムが日本にも及んできていることに恐ろしさと悲しさを感じてしまいます。もちろん、自分の国が豊かになることを求めるのは誰もが同じです。しかし、そのために他の国を不当に犠牲にしてはいけません。あくまでもトランプ大統領が言う「ディール（取引）」ではなく「交渉」で、お互いに納得した上で内政、外交を進めていくことが大切です。今の国際状況、国内状況は、先の大戦前の状況に

～前号四コマ漫画「今日あった『いいこと』」から～

今日あった「いいこと」



さらには、「こころ」の面だけではなく、「からだ」の面でも好影響があるということです。

この「アプリケーション・リスト」づくりには条件があって、「同じものは書かない」です。普通は、4、5日すると書き出すものが一気に減るそうです。試しにやってみてはどうですか？

原稿を
お待ちしております



近況報告、または昔の思い出、さらには現職時代の写真など、提供をよろしくお願いします。短歌や俳句なども大歓迎です。メモ的なものでもどうぞ。

- 住所等の変更及び会報の原稿は、下記の連絡先までお願いいたします。

- 連絡先 (事務局長) 柴口正武 宅

〒976-0036 相馬市馬場野字寺内175-5

※ 電話は 090-2604-8941

※ ファックスは 024-522-7751

(弘済会福島支部／柴口勤務先)

※ 電子メールは shibaguchi0211@gmail.com



2025年 8月 1日

第416号

退教協ニュース

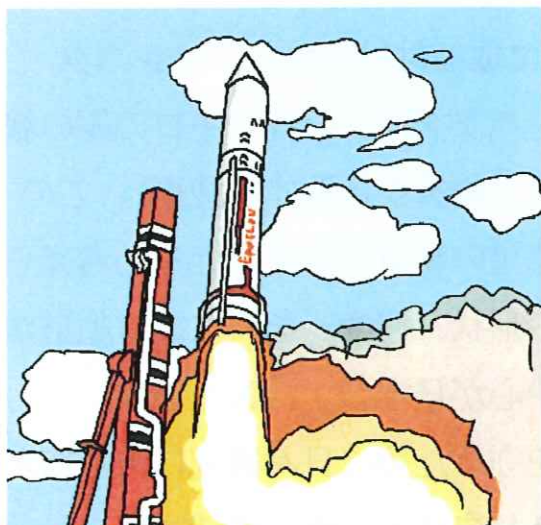
地球防衛の話

鹿児島県肝付町（浪江町）木村政文

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。柴口さんから送られてくる退教協双葉支部「退教協ニュース」を楽しみに拝読しています。過日の高野正美先生の記事を読ませていただき、当時の光景が浮かんできました。ありがとうございます。

御礼の電話を柴口さんに差し上げましたが、その際、久しぶりに鹿児島からの便りをお届けしなければと感じたしだいです。今回の便りは、「地球防衛」についてです。子供の頃、地球防衛軍などが登場したテレビ番組がありましたね。懐かしい方がおられるかと思います。

さて、ご存知のように本町（肝付町）には、日本に2ヶ所しかないロケットの射場である内之浦宇宙空間観測所があります。ちなみに、ロケットの打ち



上げというと「種子島宇宙センターでは?」と思われがちですが、種子島は主に液体燃料の大型ロケット（H3など）、内之浦は主に固体燃料の小型ロケット（イプシロンなど）になります。

ここからが、地球防衛の話です。過日、JAXAの宇宙科学研究所長と懇

談する機会がありました。その際に話されたのが「地球防衛」です。これは「プラネタリーディフェンス」（小惑星などの天体が地球に衝突するのを防ぐための国際的な活動）を日本語に言い換えた言葉だとのことでした。



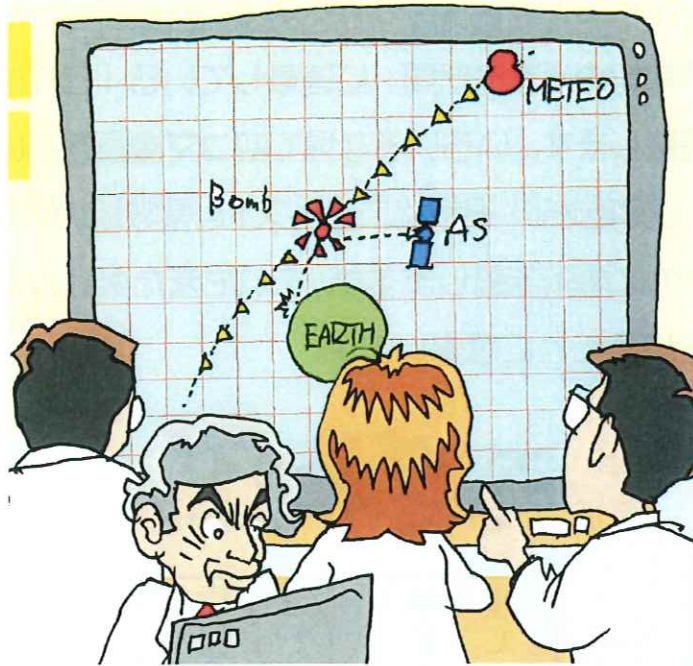
「えっ、惑星が衝突？」

と思われる方がいるかと思います。恐竜が滅んだとされる小惑星は直径が10kmから15kmと言われていますが、実は、2029年4月13日に、直径300メートルを超える小惑星が、静止軌道（約3万6千km）の内側である3万kmまで地球に接近するとのことでした。これは人類が経験する初めての出来事だそうです。現在の軌道からは、地球に衝突することはないとのことですが、軌道の変化によっては、衝突の危険、あるいは、地球の引力により惑星の形が変わったり、破片が引き寄せられたりするなど何が起こるか分からないとのことでした。

現在、JAXAと欧州の科学者が中心（トランプのアメリカは当てにならないとのこと笑笑）となり、天体衝突による被害を未然に防ぐために、宇宙探査技術やデータ分析技術などを活用し、小惑星などの軌道を把握し、衝突の危険性が高い天体に対しては、軌道修正や破壊などの対策を講じる研究が行われているとのことでした。

特に注目されているのが、「はやぶさ2」に取り付けられた「インパクトタ」という衝突装置の応用だそうです（インパクトタは、直径2キロの銅の塊を小惑星にぶつけて表面にクレーターを作り、物質を採取する技術）。この装置を大型化し、小惑星にぶつければ、小惑星の軌道を変更できると考えられています。現在、ぶつける物体の大きさや形状、速度、それにより軌道がどう変化するか実験が行われており、その中心が日本のJAXAです。

私たちがほとんど知らない宇宙で、地球を守るために日々研究に取り組んでいる皆さんがいることに驚きと感謝しかありません。その地球防衛の最前線が、鹿児島県（種子島、内之浦）です。2029年4月13日、空を見上



げると小惑星が見えるかもしれません。

今回の便では、夢のある話をお届けしました。

追伸ですが、ロケットエンジン燃焼試験の失敗で、打ち上げが延期されているイプシロンSロケット（H3ロケットの良さを取り入れた高性能・低コスト）ですが、内之浦宇宙空間観測所からの打ち上げに向け開発が進んでいます。

.....

（事務局より）木村さんからの原稿には、驚きの内容が満載でした。SF映画好きの方であればご存じだと思いますが、洋画では「アルマゲドン」、邦画では「フィッシュ・ストーリー」など、小惑星の地球衝突を人類が防ぐという映画がありました。それが現実のものであることを感じました。次号では、双葉高校野球部をテーマにした高野正美さんの原稿（第二弾）をお送りいたします。

水分補給

by Monster 松



(事務局長・柴口より)

頁に「空き」が生じたので、福島県教組の「教育新聞」に連載している「ここは学校です！」の最近の四コマ漫画を掲載します。いろいろな場で四コマ漫画を描いていますが、「連載」としては、この「(双葉支部) 退教協ニュース」と県教組の「教育新聞」だけです。ネタをひねり出すのに悪戦苦闘しますが、これもまた楽しみの一つです。こういう機会をいただいていることに感謝します。

ここは学校です! Monster 松



ここは学校です! Monster 松

